

美しく希少な水生昆虫、古賀市で初確認！

全国的にきわめて希少な『キボシチビコツブゲンゴロウ』  
千鳥ヶ池にて発見されました！

「キボシチビコツブゲンゴロウ」は水生昆虫のコツブゲンゴロウ科の一種で、福岡県レッドデータブックでは絶滅危惧 IB 類に選定されています。生息地の少ない種である上、生息地における個体数も少ないことから、環境省レッドリストにおいても絶滅危惧 IB 類に選定されている全国的な希少種です。

今回、古賀市環境課が親子参加型イベント「千鳥ヶ池の生きもの観察会」を 10 月 22 日（土）に行った際に、主催者の環境課職員が 1 個体を採集しました。講師として参加していた福岡県保健環境研究所の中島淳専門研究員により、これまで古賀市からは記録がないキボシチビコツブゲンゴロウであることがその場で確認されました。

千鳥ヶ池は環境省「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）」に選定されている自然湖沼です。かつてはコバンムシやオオマルケシゲンゴロウなど希少な水生昆虫の生息が知られていましたが、池周辺の開発に加えて、近年では富栄養化や遷移進行による環境の変化が生じており、過去に記録のあった水生昆虫類のいくつかの種が絶滅したと考えられています。しかし、今回のキボシチビコツブゲンゴロウの発見は、千鳥ヶ池に保全上価値の高い環境がまだ残っていることを示すものです。今後も引き続き湿地環境の保全と再生を進めていきます。



千鳥ヶ池産：キボシチビコツブゲンゴロウ（写真提供：中島淳）

## 【詳細】

### 1. コツブゲンゴロウ科とは？

- ・日本から 5 属 16 種が記録され、いずれも 1.2～5.0mm ほどの微小な水生昆虫。
- ・ゲンゴロウ科に近縁で、幼虫も成虫も水中で生活する。

### 2. キボシチビコツブゲンゴロウ (*Neohydrocoptus bivittis* (Motschulsky, 1859)) とは？

- ・体長約 3.0～3.4mm で、背面には鮮やかな黄褐色模様がある。体は厚みがある。
- ・環境省 RL 絶滅危惧 IB 類、福岡県 RDB 絶滅危惧 IB 類。
- ・植物が豊富な止水域に生息し、ヨシやマコモ、ガマ類の繁茂する泥底の環境を好む。
- ・産地は局地的でかなり稀な種。
- ・水中の植物体上で生活し、口器で植物体に穴をあけ、尾端を差し込んで呼吸する。この呼吸法を用いることで、水面まで行かなくても水中活動を継続できる。

### 3. 今回の発見について

#### 1) 経緯

古賀市環境課はぐりんぐりん古賀と協働し、千鳥ヶ池に生息する生きものの保全活動を行っており、今回のような親子向けの水生生物観察会を5年ぶりに開催する中で、キボシチビコツブゲンゴロウの生息を確認した。

#### 2) 意義

本種は県内では2005年に北九州市若松区で初めて発見・記録され、その後は上毛町、久留米市での分布情報があるのみで、古賀市からは初記録となる。ヨシの根際など植物基質内に深く入り込んで生活することから、これまで発見されていなかったものと思われる。今回の観察会では福岡県RDBで準絶滅危惧種の「エサキアメンボ」の幼体・生体も確認された。千鳥ヶ池には福岡県RDBで絶滅危惧IB類の「ツクシオオガヤツリ」も生育しており、生物多様性保全上重要な場所であることが再確認された。今後これらの希少種が絶滅しないよう、千鳥ヶ池の湿地環境の保全と再生を進めていきたい。また、より多くの人に関心をもってもらうよう、今回のような市民参加型の生きもの観察会を継続して開催していく。

#### 参考資料

福岡県「福岡県の希少野生生物 キボシチビコツブゲンゴロウ (<https://biodiversity.pref.fukuoka.lg.jp/rdb/rdfs/detail/201400162>)」

環境省「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地） ([https://www.env.go.jp/nature/important\\_wetland/](https://www.env.go.jp/nature/important_wetland/))」

中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之「ネイチャーガイド 日本の水生昆虫（文一総合出版）」

#### 【問い合わせ先】

古賀市役所 環境課環境整備係 担当：安部  
電話：092-942-1127